

ここが聞きたい！ 一問一答

個人質問
12人



6月定例会
で行われた
一般質問の様子を
お伝えします

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、市民の皆さまの声や自身の考え方をもとに、市長や教育長などに方針や課題、成果を問うものです。

質問ルール

代表質問
質問時間

20分+
会派人数
×5分

個人質問
質問時間

1人
30分以内

質問回数

回数制限
無し

次回は
9月
定例会

※代表質問は3・9月定例会で行われます

おねがい

ここでは、紙面の都合上要約して掲載しています。詳細はHPでも公開していますが、ぜひ傍聴にお越しください。

次回質問日(予定)

9月	3日(日)	代表
	6日(水)	個人
	7日(木)	個人
	8日(金)	個人

9時30分から!

市長 平成28年度は出生時、273人を対象に赤ちゃん訪問を行い、育児へのアドバイスを行ってきた。今年度からは、産後ケア事業を実施している。今後の課題は、専門

議員 今までの実績と課題についてたずねる。

市長 国において、妊娠・出産から学童期の子育てまでを切れ目なく支援を行うワンストップ拠点を目指すとしている。笠岡市では本年4月から、こども部を創設し充実を図っている。策定中の第7次総合計画においても、子育て世代包括支援センターを導入する。

議員 笠岡市における子育て世代包括支援センターの整備についてたずねる。

子育て世代の注目施策！ 笠岡版「ネウボラ」を問う



うまこしゆうせい
馬越裕正議員



職の人員確保と相談スペースの確保が上げられる。

議員 子育て世代に笠岡市へ移住してもらうためにアピールする特徴はあるのかをたずねる。

こども部長 「子育て応援読本」を発行していて、妊娠から学童期まである子育て支援の内容を事細かく記載されている。これからも、こういった制度をしっかりとアピールしながら、充実させていく。

※「ネウボラ」・フィンランド語で「アドバイスの場所」を意味し、妊娠期から学童期までワンストップで対応する子育て支援制度

